



令和7年度 三本松市民センター

川柳入選句

川柳宮城野社

仁多見 千絵 選



選者総評

今年は例年になく大勢の方が応募してくださり、厳選となりました。

川柳を詠んでくださる方が多いということはとても嬉しい事です。

たくさんの方の句と向き合い感じたことは、リズムを整えたら、語順を変えたら、もっともっと素敵な作品になると思うものが多くありました。

これから五七五と指を折りながら、川柳を楽しんでください。



課題『作る』

★佳作

空っぽの弁当箱に励まされ

うどん人

母作るムームー涼し風呂上がり

細井 尚子

爺ちゃんの自慢の西瓜夏を呼ぶ

チユン子すずめ

アイデアで未来を作るものづくり

やどかり兄

リタイア後スマホの中に秘密基地

やーくん

🌟特選

特選3 AIもかなわぬ子等の思考力

弘子

既成概念で凝り固まっている大人と違い、こども達の持つ能力は無限大。個性が大事な時代。伸び伸びと育ってほしい。

特選2 定年後妻に弟子入りさしすせそ

P O N 5

「さしすせそ」とは日本料理に欠かせない調味料の頭文字。キッチンの笑い声が聞こえてきそうな微笑ましい句。

特選1 かすり傷作って孫は武勇伝

とし

小さな子どもにとってかすり傷でもつらいもの。「泣かなかった」などと胸を張る。かすり傷に対しての武勇伝が面白い。

課題『公園』

★佳作

失恋も恋の成就も知るベンチ

牛美

少子化で公園ポツンと寂しそう

シヨクドー

公園が公園としてある平和

しなやかーる

公園に子どもも蝉もいぬ暑さ

フーマー

時代だね育休パパのはしやぎ様

南 雅子

🌟特選

特選3 公園へデビューしました定年後

よっちゃん

公園デビューという小さな子とママを思い浮かべるが、作者は定年後に孫の子守りで公園へ。若いママ達との会話で若返るかも。

特選2 公園に子らの声聞く嬉しさよ

かばくのかば

子ども達にとって公園は体を鍛え、心を和ませてくれる場所。楽しそうな声は聞いている作者をも幸せにくれる。今年は熱中症にご注意を！

特選1 公園で空まで飛んでくブランコで

やどかり

今は「空飛ぶブランコ」や「絶景ブランコ」などの名前で大迫力と爽快感を味わえるブランコが日本各地にある。子ども達は公園のブランコで空まで飛んでいく。いいなあ。

課題『自由吟』

★佳作

あんばんは甘いばかりでないと知る

しんちゃん

老夫婦使いこなせず置きスマホ

ポプラ

心地良い風鈴の音に母偲ぶ

小桜ナチュちゃん

みんなとの会話が好きと握り飯

岡田 不二夫

夏休み宿題の数多すぎる

はるる



特選

特選3 野良猫に笑われそうな悩み事

ずぼらや

野良猫は自由でいいなあとちよっぴり思うが、猛暑にも厳寒にも愚痴一つ言わず命をかけて生きている。それに比べれば……。

特選2 物価高「もったいない」が生かされる

横溝 陽子

「もったいない」という言葉はノーベル平和賞を受賞したケニアの環境保護活動家ワンガリ・マータイさんによって世界共通語として広められた。日本人が忘れかけている言葉をもう一度心に。

特選1 向日葵のぽつんと一つ誰を待つ

てつくん

被災地の更地や空き家で主を待っているのか、公園で子ども達を待っているのか。今はウクライナの向日葵もつらい。いくつもの物語が生まれそうな句。

 市民センター賞（三本松市民センター職員選）

『作る』

庭菜園食べごろ狙う小鳥達

せつ

願いこめ七夕色に染まる指

グリーン

誰だっけ？作り笑いでやりすごす

ノンタン

狭い庭作る野菜は値千金

小野寺 彰

『公園』

木の下でプールの遊ぶ子らの声

まるき

木陰にて親子の声弾む午後

慶子

それぞれの公園散歩マイペース

佐藤 武

公園のクリーン作戦地域の輪

さっちゃん

『自由吟』

年重く一日ひとつ楽しみを

いっこ

新メニューお口に合わずマンネリ化

ピースケ

朝ドラで戦禍の心情に涙する

今はテテペン

秋来れば杜の都はジャズに酔う

庄司 芳次